



決算書の数字から今を正しく見抜き、未来の選択肢を広げる!

経営判断に生きる! 財務分析講座

研修のねらい

決算書は経営の「健康診断書」であり、企業の「現在地」を示すと同時に、「これから」を考えるための重要な羅針盤でもあります。しかし現場では、「決算書は見ているが、細かい数字の意味までは自信がない」「売上や利益は気にしても、その背景までは掘り下げていない」といった声が少なくありません。

この講座では、数字の背後にある企業活動を読み解き、課題の本質や成長の糸口を見出す力を養います。実在企業のケース演習を通じて、「どの数字を、どのように見るべきか」を体感的に学び、経営判断に活かせる実践的な財務感覚を身につけます。今日の数字から明日の戦略を描く。そんな「経営判断に活かせる財務分析力」を、ぜひこの機会に磨いてみませんか。

研修のポイント

- ✓ 財務三表 (PL・BS・CF) のつながりを体系的に理解し、数字の意味を「業務活動のストーリー」として捉えられるようになります。
- ✓ 決算書を使った反復演習により、現状把握→課題抽出→改善立案の一連のプロセスを身につけ、自社への応用力を高めます。
- ✓ 業種特性や経営戦略による財務体質の違いを踏まえ、数字を見るだけでなく読み、使う力を習得します。

研修期間

2026年

9/2水 ~ 9/3木

(2日間・14時間)

対象者

経営者、経営幹部等

- ・ 決算書の数字から経営状態を客観的に把握し、経営判断の精度を高めたい方
- ・ 財務データを活用して、利益構造やコスト構造の改善策を考えたい方
- ・ 資金繰りや安全性をチェックし、自社のリスクを把握・コントロールしたい方

定員 16名

受講料 22,000円(税込)

会場

金沢パークビル 9階 902 会議室

石川県金沢市広岡3-1-1

※9階エレベーターを出て正面の会議室です

※中小機構のロゴマークが目印です

月日	時間	科目	内容
	9:20-9:30	オリエンテーション	
9/2水	9:30-17:30 昼休憩 12:30-13:30	財務諸表の読み方と利益構造の理解	<p>決算書を読む上で押さえるべき視点について学びます。</p> <p>■財務分析の基本と経営判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営判断と財務分析の関係 ・ 決算書を経営の武器にする視点 <p>■損益計算書 (PL) の構造と読み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 粗利増減要因分析 (売上高増減・粗利率増減に対する仮説の立て方) ・ 営業利益と人件費の関係性を事例で学ぶ ・ 節税貧乏にならないための資金繰り ・ 演習：建設業、製造業などのPLを用いた原因分析と仮説検証 ・ 収益改善のヒントの見つけ方 <p>■貸借対照表 (BS) を読むポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関との交渉のポイント ・ 自己資金 (手金)、借金、設備投資、支払い能力、運転資金などの安全性指標 ・ 演習：事例企業の財務リスクを仮説で読み解く
9/3木	9:30-12:30	財務諸表の応用分析と経営シミュレーション	<p>■キャッシュフロー (CF) 計算書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利益とキャッシュが一致しない理由 ・ CF計算書を読むポイント ・ 稼いだ利益はどこに消えたのか? <p>■損益分岐点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ステップ方式で損益分岐点を計算する ・ 損益分岐点を使う場面とは ・ 変動費・固定費の分類法 ・ 演習：赤字解消の売上、目標売上の計算
	13:30-17:30	総合演習	<p>モデル決算書を題材に、実際の企業活動との連動をイメージしながら、業種や戦略による財務体質の違いや今後の課題、事業展開に関する意思決定の手がかりについて学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業種・戦略による財務体質の違いを理解する ・ 優良企業・倒産企業・再生企業の財務構造と判断の違い
	17:30-17:40	修了証書授与	

※カリキュラムは、都合により一部変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

講師紹介 (敬称略)



財務リスク研究所株式会社 代表取締役

横山 悟一 (よこやま ごいち)

会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくだけでなく、独自に開発した「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに6,000社を超えている。著書に『3分間で決算書が読める!』(H&I)、『売上をあげる手段としての決算書の使い方』(総合法令出版)、『小さな会社のCFO』(日経BP社)、『新リーダーへ!「これが会社の数字の読み方です」』(実務教育出版)ほか多数。